



心が温かくなるひと時

園長 多比良 由恵

街ではカキ、ミカン、ザクロなどの木が実をつけ、希望の坂ではヒガンバナが咲き始めてます。爽やかな秋風が心地よく、子どもたちは広い校庭を思い切り走って遊んでいます。

先日の台風15号は、これまでに経験したことのないような暴風雨により、屋根が飛ばされたり電柱や樹木が倒れたりし、長期にわたる停電や断水など多くの被害が発生しました。被災された方々にお見舞申し上げます。電気や水が安心して使える、電車が通常運転しているなどの日常がどれだけ有難いことなのかと、改めて思います。

さて、私は、9月下旬に青柳小学校の『ふれあい給食会』に参加させていただきました。3年生の皆さんと昔遊びをしたりおいしい給食をいただいたり、とても楽しいひと時を過ごさせていただく中で、私は様々な気持ちを感じました。

○初めの会では…「3年生の皆さんの発表、しっかりしていてすごいな」「親切な言葉で遊び方や折り方を教えてくれて嬉しいな」

○給食の時には…「私が小学生の時は、給食に鯨がでていたな」「夏休みの自由研究、丁寧に仕上げたり工夫したりしていてすごいな」

○終わりの会の頃には…「一緒に給食を食べた〇〇さん、大きな口を開けて歌っていて素敵！」「△△さんとお城の話をして楽しかったな」

このように、会の初めの頃の3年生の皆さんへの感想から、身近に関わりをもって過ごしたお子さんの姿を通して、一人一人のお子さんの素敵などころをより一層身近に感じ親しみをもつ、という嬉しい気持ちに変化していったことを実感しました。

幼稚園では、園児のおじい様、おばあ様をお迎えして、『祖父母ふれあい会』を行いました。おじい様が園児と一緒にカルタやすごろくをしながら優しく声を掛けて下さったり、園児が笑顔で甘えたりなど、微笑ましい姿がたくさんありました。また、家庭科の保育体験学習では、音羽中学校3年生が遊びに来てくれました。園児は、目線を合わせて絵本を読んでもらったり、かっこいいソーラン節を見せてもらったりしながら、嬉しさや憧れの気持ちをもつことができました。

私が『ふれあい給食会』で温かい気持ちを感じたように、幼稚園に来てくださるお客様が、子どもたちとの関わりを通して心が温かくなるひと時を感じて下さったり、ご自身の幼稚園時代（祖父母の皆様は、保護者として通われていた時代も）を思い出して懐かしく感じて下さったりする機会となっていたら、とても嬉しいです。



すごろく「次はぼくの番だよ」



一緒におやつをいただきました